

マテリアリティ・インパクト指標

人々の幸せがあふれる社会の実現 ― 私たちはグループの全事業を通じて、社会課題の解決とその先の未来を見据え、社会的価値の創造に真摯に取り組めます。

この強い意思を、「緑の地球」「輝く人々」「幸せな成長」の3つの新たなマテリアリティに込めました。

一般的にマテリアリティは、企業が解決すべき課題として設定されることが多いですが、私たちは、金融の力とともに社会的価値創造のフロントランナーを目指す者として、課題解決のその先にある、目指す社会の姿をマテリアリティとして描くことで、社員一人ひとりの、より主体的で前向きな実践につなげていきます。

新たに設定したインパクトベースの定量目標とともに、SMBCグループで一丸となって取り組んでいきます。

マテリアリティ 下段：目指すゴール	注力領域	インパクト指標		取組の方向性
		新中計の目標	指標の考え方	
 緑の地球 <i>Green Planet</i> 緑豊かな地球を 私たちの子孫へ	気候変動	CO ₂ 削減への貢献 1.5倍 （前中計比）	SMBCグループが支援するトランジションや新エネルギー・新技術等の案件によるCO₂削減	- 気候変動・自然資本・サーキュラーエコノミーへの統合的アプローチ - 実体経済の脱炭素化に向けたトランジション支援
	自然資本			
	循環経済			
 輝く人々 <i>Thriving People</i> 誰もが希望を持って 挑戦できる社会へ	貧困・格差	未来への挑戦創出 1,000万人 （2023年度からの累計）	金融経済教育によるリテラシー向上やアジアにおけるマイクロファイナンス等を通じた支援提供者数	- 貧困・格差の連鎖断絶に向けた機会提供・自立支援 - 次世代を担う若者に対する教育・挑戦の機会提供 - サプライチェーン全体での人権尊重体制の構築・高度化
	教育			
	人権			
 幸せな成長 <i>Fulfilled Growth</i> 心豊かな成長を 日本から世界へ	産業活性化	幸せな成長 の実現	重点産業の成長度 +10%以上 （2026～2028年度）	- 日本における半導体製造や宇宙開発等の成長産業・新産業のお客さまの売上高増加率 - 新たな産業の創出と既存産業の構造転換 - 金融／非金融両面から人々の暮らしの不安解消 - 経済成長と人々の暮らしを支えるデジタルインフラの構築
	少子高齢化		将来マネーの安心度 7%以上 （2028年度）	
	デジタル		キャッシュレス牽引度 25%以上 （2028年度）	



緑の地球 — 緑豊かな地球を私たちの子孫へ —

「気候変動への対応」「自然資本の保全・回復」「サーキュラーエコノミーの実現」にグループ一体となって取り組み、緑の地球を私たちの子孫へ引き継いでいきます。

気候変動への対応

気候変動対策をめぐる各国・地域のスタンスはさまざまですが、重要な社会課題であることに変わりはありません。

適切なリスクテイク・管理、丁寧な対話等を通じて、実体経済の脱炭素化に最大限貢献していきます。

● 実体経済の脱炭素化

2050年までに投融資ポートフォリオ全体でのネットゼロを目指します。特に、脱炭素化の代替手段が限られる高排出セクターには、「Transition Finance Playbook」を活用し、丁寧なエンゲージメントを通じてファイナンス実績を積み上げています。

また、水素・アンモニア・CCUS^{*1}等の新エネルギー・新技術の開発と社会実装の加速に向け、リスクマネーを供給していきます。



^{*1} Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage
(二酸化炭素の回収・有効利用・貯留)

● 気候関連リスクの適切な管理

気候変動をトップリスクと位置付け、ポリシー、ポートフォリオ、個社・案件の各観点から、包括的なリスク管理の枠組を構築しています。特にGHG^{*2}排出の多いセクターについては、中期削減目標を設定し、管理を強化しています。

また、環境・社会面のデューデリジェンスを行い、与信判断の高度化やお客さまとのエンゲージメントに活用しています。

^{*2} Greenhouse Gas (温室効果ガス)

自然資本の保全・回復

ネイチャーポジティブの実現に向け、お客さまの取組支援に加え、SMBCグループ自身の環境保全の取組も進めています。たとえば、「SMBCの森」では、森林の保全・再生、温暖化防止、生物多様性の維持等にも貢献しています。また、東京大学と設立した「森林GXコンソーシアム」では、環境再生型の社会経済モデルの確立に向け、共同研究と社会実装に取り組んでいます。

みんなで減CO₂プロジェクト



生活者一人ひとりが「脱炭素」を身近な行動として実践できるよう、自治体、小売、メーカーと連携し、小学生向けの教育活動や各種イベント、環境負荷の低い商品の販促等に取り組んでいます。本プロジェクトを通じて、学び、取り組み、協力する「減CO₂サポーター」の輪が広がっています。



サーキュラーエコノミーの実現

地球の限られた資源を持続的に利用すべく、「循環経済」の拡大を金融を通じて後押ししています。

EVバッテリー、プラスチック、繊維を重点分野に、資金支援やリース等による利用・回収・再利用支援、共創支援を組み合わせ、グループ一体で循環モデルの社会実装・普及を推進しています。



輝く人々 — 誰もが希望を持って挑戦できる社会へ —

人々の幸せがあふれる社会の実現に向け、多様な取組で人々の挑戦を後押しします。

貧困・格差の解消

金融・非金融の両面から国内外の貧困・格差の連鎖解消に取り組めます。

● 新興国における金融包摂

アジア諸国ではマイクロファイナンスや社会的自立に向けた職業訓練、起業支援等を行っています。

また、世界初のデジタル・インクルージョンボンドの発行を通じて、新興国のデジタルインフラ整備を支援しています。

● 多様な体験で育むこどもの未来

公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンと連携し、累計1,500人超のこどもたちへ塾や習い事等で利用できる「SMBCグループ・スタディクーポン」を提供しています。また、銀行の遊休店舗に開設した「アトリエ・バンライ-ITABASHI-」では、さまざまな企業・団体が教育プログラムを実施し、累計1,300人を超えるこどもたちが受講しました。



教育・挑戦の機会提供

幅広い世代への金融経済教育の提供に加え、学業と競技に励む学生アスリートや、独創的な研究に挑む研究者へ継続的な支援を行っています。

● 金融経済教育・社会体験提供

誰もが正しい金融知識を身に付け、安心して暮らせる社会の実現へ、グループ各社の知見を活かした金融経済教育を幅広い世代に向けて提供しています。

また、日本総合研究所の「子ども社会体験科 しくみ〜な®」では、動画やロールプレイを通じ、こどもたちがお金の流れなど社会の仕組の基礎を体験的に学びます。

● 学生アスリート・研究者支援

「シャカカチ BOON BOON PROJECT」では、大学生アスリートに対して、プロジェクト・パートナーや企業と連携した活動支援を行い、社会での活躍に向けた成長をサポートしています。

「シャカカチ RISE PROJECT」では、研究者へ資金援助および研究の事業化支援等を行い、社会課題解決やイノベーション創出につなげます。

新秩父宮ラグビー場

SMBC Olive SQUARE

SMBCグループは、2030年開業予定の新秩父宮ラグビー場のトップパートナーに就任しました。施設の副名称を「SMBC Olive SQUARE」とし、来場者にはキャッシュレス化等を通じてSMBCグループの先進性を体験していただくほか、スポーツ・エンタメにとどまらず、各種実証実験や異業種交流の場としても活用し、新たなビジネスの創出につなげていきます。



人権尊重体制の高度化

変化し続ける世界の状況を踏まえながら、企業活動と人権への対応について、不断の見直しを行っています。2025年度は、一般社団法人ビジネスと人権対話救済機構（JaCER）の「対話救済プラットフォーム」による救済の枠組をグループベースへ拡大しました。また、自社のみならず外部業者取引における人権リスク対応も強化しています。



幸せな成長 — 心豊かな成長を日本から世界へ —

経済の発展とともに地球や社会の課題が解決する「幸せな成長」に向け、先進的かつ独創的なアプローチで挑み続けていきます。

産業活性化への取組

新産業の創出や既存産業の構造転換を強力に後押しします。

● 新産業創出支援

2025年9月、三井住友銀行は米国で商業用核融合炉の開発を進めるスタートアップへ出資しました。本分野のスタートアップへの投資は、三井住友銀行として初となります。

出資先の持つ技術や知見を根拠に、本邦における核融合発電の早期商用化・産業化を支援していきます。

● 既存産業の構造転換の後押し

日本の食料安全保障と食農産業の持続的成長に貢献するため、「次世代アグリビジネス協議会」を設立しました。農業法人等の資金調達や経営人材確保、農地集積等の課題解決を支援し、農業を成長産業へと変えていきます。

少子高齢化への対応

少子高齢化社会の中で生じる不安の解消を、金融・非金融両面からサポートします。

● 金融面でのサポート

人生100年時代において、ライフステージに合わせた資産形成・資産管理を、銀証信一体で支援します。特に、20～30代の若年層に対しては、預金や積立商品の提供を通じた資産形成をサポートします。

また、相続時の事務負担を軽減すべく、業界横断での手続一元化プラットフォーム「みらいたすく」の構築にも着手しています。

● 非金融面でのサポート

お客さまとご家族の健康で生きがいのある毎日を支援するため、ライフサポートサービスの提供にも注力しています。「SMBCエルダープログラム」では、銀行サービスから提携企業による各種暮らしのサービスまで、SMBCコンシェルジュが寄り添いながら安心して豊かな生活の実現をお手伝いします。

デジタルイノベーション

先進的なデジタル金融インフラが強固な経済成長基盤とより便利な暮らしを創出します。

● 個人・法人向けデジタル金融インフラ

「Olive」は、個人のお客さまに、口座・決済・金融機能をワンプラットフォームで提供し、金融取引をより身近なものへと変革しています。

「Trunk」は、中小企業や新設法人のお客さま向けのデジタル総合金融サービスで、スピードや利便性、経理業務の効率化等の面で、デジタルならではの先進性を提供しています。

● 移動を支えるタッチ決済乗車サービス

三井住友カードが提供する「stera transit」は、クレジットカード機能による公共交通機関でのタッチ乗車を実現するとともに、交通事業者のコスト削減や利用データ分析にも貢献しています。海外からの旅行者の移動・観光拡大にも寄与し、地域経済の活性化にもつながっています。

